

奈良市長 仲川げん 様

平城西中学校区に施設一体型小中一貫校を早急に開校することを求める

要 望 書

◆要旨

平城西中学校区に、施設一体型小中一貫校を一日も早く開校されることを、大地震発生時の適切な避難所確保の観点から強く求めます。

◆理由

神功地区自主防災防犯協議会（以下、協議会といいます）では、昨年1月にHUG（避難所運営ゲーム）を実施し、更に同年11月には神功小学校を使って避難所開設訓練を実施し、避難所開設時の課題の検証作業を進めてまいりました。そして、本年4月には、より具体的に避難所の開設や運営方法を検討するため、協議会内に神功小学校避難所開設運営委員会を立ち上げました（現在委員数60名）。

同委員会で種々検討する中で、果たして神功小学校が大震災後の避難所として適切なのかという重大な問題が出てきました。

同小学校では、教室をはじめ廊下や体育館、調理室等複数の箇所において雨漏りがしております。大震災により建物が大きく揺れた場合、雨漏り状態が今以上に悪化することは避けられないところです。

大震災後の避難所利用者としては、主に高齢者などの弱者が想定されているところ、雨漏り状態の避難所は極めて不適切であると言わざるを得ません。

私たち防災に関わる者たちにとっては、避難所と指定されている施設が雨漏りしているようでは、有事の際に地域住民が安心・安全に利用できるとは到底思えず、このような状態を、これ以上看過することはできません。一日も早い学校新設を切に望むところです。

なお、新設校においては、災害時の避難所としての機能を十二分に発揮出来るよう例えば多数の災害用マンホールトイレの設置など十分な配慮がなされた施設になることを合わせて要望いたします。

2018（平成30）年7月11日

奈良市神功1丁目2番地の9

神功地区自主防災防犯協議会

会長 笹部和男

神功避難所開設運営委員会

代表世話人 笹部和男